

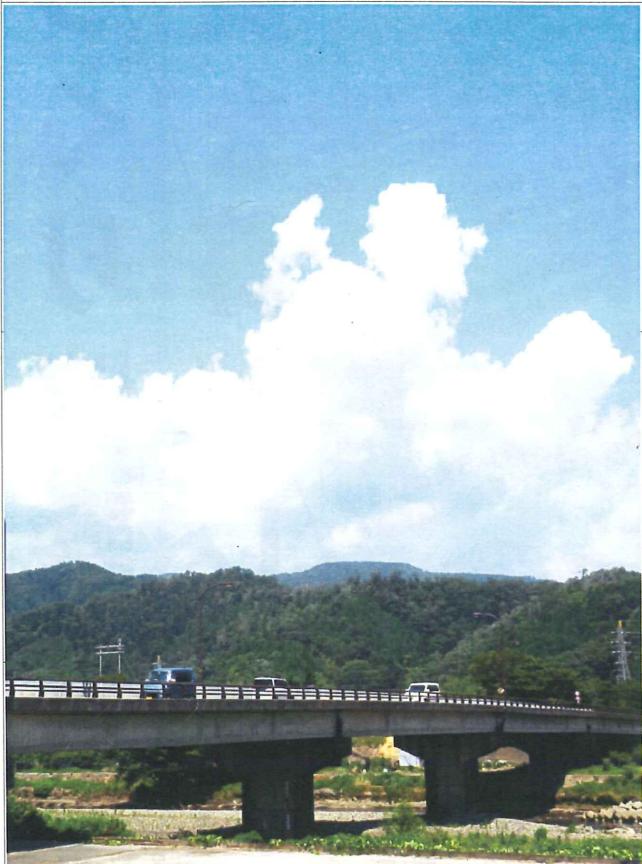
各プール開放期間

いずれも土・日を除きます。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 富永小プール(旧第3プール) | 7月23日(月)～8月3日(金) |
| 高月小プール(旧第2プール) | 7月24日(火)～8月3日(金) |
| 古保利小プール(旧第1プール) | 7月24日(火)～8月3日(金) |
| 七郷小プール(旧第1プール) | 7月23日(月)～8月3日(金) |

今年もまた、夏がやってきた。大飯原子力発電所の再稼働問題で節電に心がけながらの夏だが暑さを楽しみたい。子どもたちには、プール水泳も夏休みの過ごし方の一つだ。高月地域の三つの学校プールが各小学校PTAの皆さんのご努力で昨年と同様、十日間程度の開放が実現することとなつた。

夏休み中の学校プール開放は、所属のPTAがプールを貸し切り、PTA自らが監視員などの安全対策を講じて実施することを原則とし



湧きあがる入道雲 さあ夏本番だ！（6月29日撮影）

しかしながら備えは万全だらうか。毎年、自治会で防災訓練を行つてゐるけれど、果たして、いざという時に役立ち、命を守れる的確な行動が身についているのだろうか。自治会での防災活動、自主防災組織が果たす役割は非常に大きい。自主防災組織の重要性や防災の基礎知識を学ぶ『地域防災研修会』を開催する。明日かもしれない、その時のために防災知識と意識を持ちたいものだ。

ている。したがつて当該ブールの児童の利用のみ認められてゐることや、弟妹であつても未就学児は利用が制限されてい

るなど、少々融通がきかないところがあるが、とにかく昨年に引き続き開放できることに、PTAの皆さんのご努力に敬意を表し、地域として喜びたい。協議会としても安全監視員が不足する場合、地域での支援を考えたい。

高月公民館『地域学講座』 連携講座

地域防災研修会 開催へ

その時、あなたは

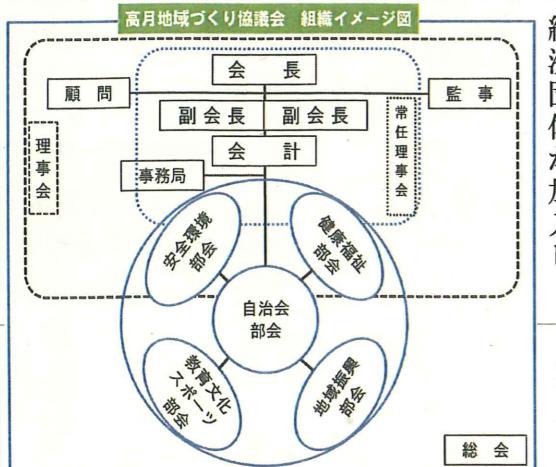
家族と自分の命を守れますか？

7月20日(金)夜7:30～高月公民館で

やはり異常気象なのだろうか、今年は六月に台風が上陸し、各地に大雨による被害をもたらして、足早に駆け抜けていった。発生確率が高まりつゝあるという東南海、南海地震、台風接近による風水害、竜巻といふ自然災害あるいは原子力の安全性の問題など、私たちにはいつ災害に遭遇するかも知れない不安を抱えている。この自然災害などに備えて、自分や家族の命を守る、十分な防災、減災の対策を講じておかなければならぬ。特に、自治会など隣近所が集まり互いに協力をし合つて防災活動に取り組むことが重要だといわれている。しかしながら備えは万全だろうか。毎年、自治会で防災訓練を行つて、いるけれど、果たして、いざという時に役立ち、命を守れる的確な行動が身についているのだろうか。自治会での防災活動、主防災組織が果たす役割は非常に大きい。自主防災組織の重要な性や防災の基礎知識を学ぶ『地域防災研修会』を開催する。明日のために防災知識と意識を持ちたいものだ。

長浜市となつても
キラリと輝く
高月地域で
あるために

議会は、昨年二月高月地域内（旧高月町）でまちづくりを目的に活動する団体と個人に入会を呼びかけ、三月に設立しました。団体会員として加入するものは、地域内の三十三自治会をはじめ高月地区の老人クラブ、社会福祉協議会、健康推進員協議会、民生児童委員協議会などの福祉団体や交通安全協会赤十字奉仕団、消防団など地域安全団体地域内の学校機関、PTA組織、芳洲会



団体の会員の二
社会福祉・安
教育文化のス
域振興のかれ活動
していま
す。地域の
課題につ
いて、解
決策をみ
んなで考
え行動す
る、いわ
ば住民に
よるかつ
ての役場
のような組
織です

会員數(七月現在)は
団体会員 八八団体
個人会員 二六名
合計 一一四会員

685-5204

あつたかつきなまちづくり

市町合併で長浜市が経過し、この間、高月地域の多くの人がから「合併しても何一つ良いことが無い」という趣旨のご批判をよく伺う。高月支所（旧高月町役場）の職員数が年々減り、閑散としていく様子が象徴するかのよう、地域がさびれ、かつてのような元気さを失くしてしまうことを中心配してのご意見だと思われる。

この合併は、少子高齢化が今後も進み人口が減少する中で厳しくなる財政状況にあっても福祉や教育にかかる行政を持続的に運営していくためのもの評価だ。しかししながら、今までのように行行政が高度な行政サービスの水準を維持するとは困難になり、住民は困難になり、住出行出し、一人ひとりが行動して課題や問題を解決していく、新しい時代が来ていることは確かです。

そのため、「地域のことは地域で担う」という本来の住民自治の精神に基づき、満足度の高い地域社会を築くために地域住民が一丸となり『まちづくり』を進めようとした協議会が設立されました。

たかつき「地域力」⑯

地域に〈お互いさん〉がゆきかう“あったかつき”をめざして

高月地域づくり協議会では、地域活性化のための防災組織の整備をめざして、実践的な取り組みを行なっています。

■各部会の主
〔自治会部会
(1)除雪による
各自治
状況を聞き
市当局へ要
(2)鳥獣被害
イノシ
対策につい
らによる研
健康福祉部
)高齢者サ
地区社
支援や高
いけなど
ようか
よう
の実
てサ
も
取

平成24年度 事業計画書

平成24年度は、高月地域づくり協議会が設立して2年目の年です。昨年9か月かけて、会員みんなで策定した5年間の行動計画『高月地域づくり計画書「絆と安心のプログラム」』に基づく地域の事業をスタートさせる年です。(中略)

東日本大震災から一年が経ちましたが、この大震災からはまだまだ緒についたばかりですが、まだ私たちが得る教訓は、隣近所から地域で互いに支え、助け合う「共助」の大切さです。

日頃より向う三軒両隣が仲良く、助け合いながら生活することが共助の第一歩と考えます。高月地域づくり計画書『絆と安心のプログラム』が画く地域の将来像、「地域に〈お互いさん〉が行き交う“あったかつき”」はまさしく共助あふれる地域社会を築こうとするものです。

地域づくり計画書に掲げる事業をできることから一つずつ取り組み、地域住民にとって安全で、安心して、いつまでも住み続けたいまちになるよう、みんなで力を合わせて頑張りたいと思います。

■各部会の主な事業

[自治会部会]

(1)除雪による道路交通確保事業
各自治会長から大雪にみまわれた今冬の除雪
状況を聞き取り、改善すべき点など取りまとめ
市当局へ要望する。

(2)鳥獣被害対策事業

(2)鳥獣・放害対策事業
イノシシ、シクマ、猿、カラスなどの鳥獣害対策について自治会、農業者、農業団体代表者らによる研修会を開催する。

健康福祉部会】

- ①高齢者サポート支援事業
地区社協や老ク連と連携して、高齢者への地
支援や高齢者サロン未設置自治会へ設置の働
けなど高齢者の見守り活動を支援する。
ようがいしや者支援事業
ようがいしや者がいきいきと活躍できる地
域の実現をめざして、啓発と協働を実施する。
てサークル活動推進事業
もが安心して育つ地域社会づくりを地域
取組む。

(4)健康づくり推進事業
地域住民の健康意識の啓発と実践
一キン大会を実施する。
【安全環境部会】

(1)自主防災組織確立事業
地震や洪水など自然災害の発生に備え、
な行動ができるよう、各自治会自主防災組織の
強化と未設置自治会への組織化をすすめる。
美化清掃事業
めしく、快適なまちをめざして主要道路の
活動や啓発活動を地域あげて実施する。
の安全点検事業
事故のない地域社会を願って、通学路や
路の安全点検活動を関係団体と連携して
る。

ポート部会)
事務
中の学習支援や教員OB会による学
地域の教育支援体制を充実して地域
る。

会員の登録申込みは月高館民へ

小学校通学路安全点検活動とその報告会

安全環境部会



24.5.14~18と24.6.20

議会の呼びかけで日頃児童の安全に取り組んでいる団体が協働して、五月の四日間児童と一緒に登校し、通学路安全点検を実施した。

六月二十日夜点検活動をまとめる報告会が開催され、通学路の危険箇所や改善策が報告され、対策が話し合われた。危険箇所は児童に啓発するほか、県や市などに改善を求めていくことになった。

や千葉県などで登校中の児童が無謀な運転による交通事故に巻き込まれ、いくつもの尊い命を失い、重傷を負う事故が相次いで起つた。このことから全国的に児童の通学路の安全性が問題となり、通学路の安全点検が行われている。高月地域では毎年も前から、交通安全協会により行われて

地域づくり協議会 事業報告(5～6月)

A photograph of a massive, ancient pine tree, likely a Japanese cedar, with a wide, gnarled trunk and dense, dark green foliage. The tree is the central focus, with many people standing around its base, some taking pictures. In the background, there are traditional Japanese buildings and hills under a clear sky.

健康福祉部会

鳥獣害対策研修会

自治会部会

24. 6. 15

田や畑で丹精込めて作られた農作物が、イノシシや猿、カラスに食い荒らされてしまふ被害が急増している。こうした有害鳥獣から大切な農作物を守るために有効な対策を考える鳥獣害対策研修会が、六月十五日夜、高月公民館で開催された。



地域の方から何処で働いていいのかと聞かれると「高月つつじ作業所」と答えると、「大変ですね」と言葉をいたくだくことが多い。他の職員に聞いてもやはり同じです。地域の方の多くは「大変だ」と思つておられるようであるがどの仕事をして

つつい作業所 からのつぶやき

第1回健康ウォーキング大会終わる 参加者百二十余人が元気に歩く

24. 6. 4

編集後記

梅雨が明け、本格的な夏が到来する。今年は電力不足で相当暑い夏を過ごすのだろうと覚悟をきめていたら、あつさり大飯原発再稼働が決まり、拍子ぬけの感がしている。

▼本当に原発がなければ夏が乗り切れないのか、人間の知恵、辛抱を試してみる機会ではなかつたのか。その間に原発の安全対策を高める努力をいたすことが問われていうに思う。

しようがいの重い人を支援するにはどうすればよいのか悩んだり考えたりしながら知恵を出し合います。人としても成長させてくれるからです。そのことが職業人としても成長させます。